

YAMAHA NEWS NO.84

ヤマハニュース '70 **6** JUN.

旅に出よう トレール・ラン

スポーツ教室を開きましょう



# 自然を走ろう トレール・ラン

ヤマハトレールによって開拓された新しいスポーツ「トレール・ラン」が、ヤングマンの間で流行しています。「トレール・ラン」は、自然を求めて野や山を、あるいは海辺をヤマハトレールで跋涉する健全なスポーツです。ときには、地図にもない山間の小路に、ひとり分け入り、清浄な自然に親しむ。またあるときは、気の合った仲間同士、助け合いながら、けわしいけもの道を登っていく。「トレール・ラン」は、ヤングマンの心身をきたえます。



新しい二輪車時代を築くヤマハ

# スポーツ教室を開きましょう

## 需要を伸ばすヤマハ交通安全教室

好評のトレール教室、ヤマハ運転免許教室にひきつづき、ヤマハスポーツ教室がいよいよスタートします。「ヤマハスポーツ教室」は、安全で楽しいオートバイ・スポーツをヤングマンの間にひろめあなたのお店のスポーツ需要をふやします。ヤマハスポーツ教室を開いて、若いお客さまの増大と組織化を図り、大きく発展するスポーツ時代をリードしてください。

## ヤマハ交通安全教室



トレール教室

運転免許教室

## スポーツ教室

トレール・ラン

オート・キャンピング

モトクロスレース

メカニック・スクール

ロードレース

ジム・カーナその他のスポーツ

ラリー

ツーリング

# マハ交通安全教室

代表されるヤマハ交通安全教室が各地での人びとに、正しい交通のルールと、安  
輸車のある生活を深く豊かなものにする  
通安全教室は、新しい二輪車需要をつく  
促進に大きく役立っています。



スポーツ人口もふやすヤマハ運転免許教室

## 社会的な評価も高まる

ヤマハフレンド店のみなさまが主催するヤマハ運転免許教室は、原付免許所有者を大きくふやします。

全国にわたって開催されているヤマハ運転免許教室には、新しく免許年齢に達した人や二輪車の便利さ、楽しさを知りながらも、運転免許をとるきっかけがなかった人びとが、多数参加して、非常な盛況を呈しました。

ヤマハ運転免許教室で、正しい交通知識を

身につけ、試験にのぞんだ人たちの合格率は抜群です。社会的にも意義のある催しとしてヤマハ運転免許教室の評価が高まっています

原付免許の取得を目的とした、免許教室をさらに発展させ、近く二輪免許教室も開催するはこびになりました。

このように拡大する二輪車人口を、ヤマハスポーツ教室の実施によって、あなたのお店に密着させてください。

# 需要を伸ばすヤマ

トレール教室、ヤマハ運転免許教室で盛況です。ヤマハ交通安全教室は、多数全運転の技術を身につけていただき、二ために生まれました。同時に、ヤマハ交り、ヤマハフレンド店のみなさまの販売



不整地の安全走行を学ぶヤマハトレール教室

## 二輪車の楽しさをひろげる

トレール教室は、二輪車の楽しさ安全さを再開拓して、安定した需要をお店の周辺につくります。トレール時代の招来にも大きく貢献しました。

走行中の路面の変化など、いろいろな状況に対処できる安全運転の基本技術を普及させるものとして、社会的にも大きな反響を呼んでいます。

同時に、トレール・ライディングの楽しさ

もトレール教室はひろげました。

トレール教室で学んだテクニックを生かして、自然を走るトレール・ランやモトクロスレースに入門する若いお客さまもふえています。

トレール教室は、楽しく安全にヤマハスポーツ教室に参加するためのテクニックをみがく場でもあります。



ロードレース



ジム・カーナ

メカニックスクール

オートキャンプ



# ヤマハスポーツ教室スタート!

## バラエティに富んだ新企画

行動的なヤングマンにモータースポーツの楽しさを知っていただき、あなたのお店を中心に新しいお客さまをふやす「ヤマハスポーツ教室」がスタートします。

ヤマハスポーツ教室を安全に、楽しく、しかも円滑に運営していただくための各種のテキストや用品を準備しています。ヤングマンの心をひきつけるツーリング教室、ラリー教室、モトクロス教室、ロードレース教室、あるいはトレール・ラン、オート・キャン

ピング、トライアル、ジム・カーナなど、ヤマハスポーツ教室の開催は大きな反響をまき起すことでしょう。

また、スポーツ教室の一環として開かれるメカニック教室は、お客さまに、愛車のチューニングアップの楽しさも知っていただけます。ヤマハスポーツ教室は、あなたのお店とお客さまとの間柄をさらに緊密なものとしめます。スポーツ教室によって組織化された若いお客さまは、お店にとって、拡販のための頼もしい味方です。



ラリー

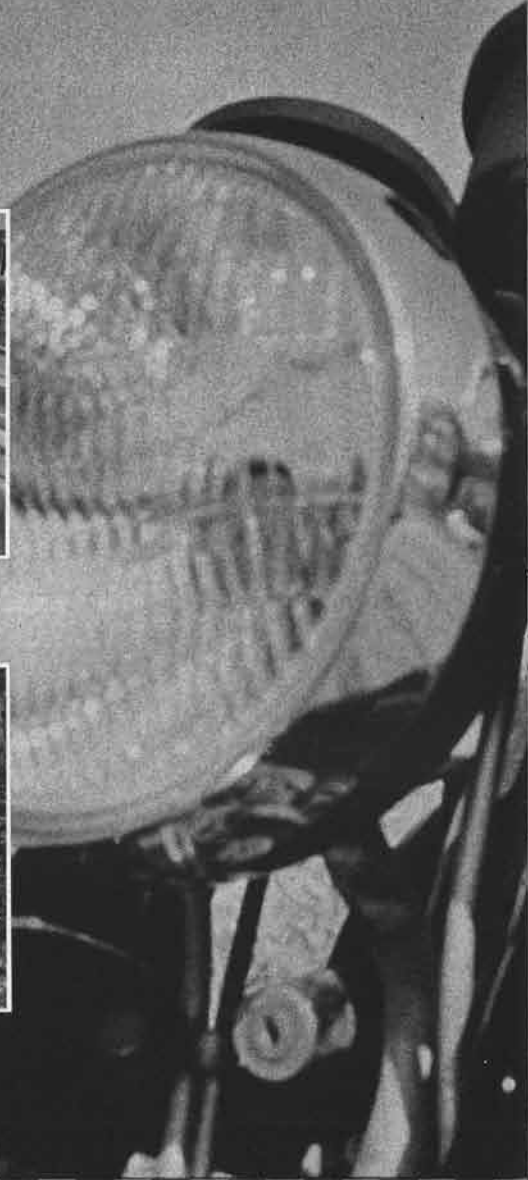
モトクロス



ツーリング



トレール・ラン



# 世界で人気沸騰!



全員メカニクに強い設計陣! その中でXS1もまた新しく生まれ変わる!



トレール界の名車、ヤマハDT1がプラモデルとなって、またまた新しい人気を呼んでいます。静岡県焼津市にある長谷川製作所さんは30年の歴史をもつ伝統あるプラモデルメーカー。『子供に夢を』という全社員の願いは、次々と作られるプラモデルに暖かくこめられ、全国、全世界の子供たちに楽しい創造する喜びをわけてきました。『今の子供さんは飛行機も船も、乗り物のことは我々よりよく知っている位です。我々の小さい時は、夢にしかみなかったものを、TVや映画で容易に目にする時代ですから、プラモデルも単なるおもちゃというものを越えて、リアリティ

社長さん右と常務さん、会心の作を手にも思わずニコリ!



本物? プラモデル?  
さああなたはどちらだと思いますか!



# "DT1"プロモーション



ヤマハブテンはオフィスの中でもオートバイのフィーリングを味わいます!

YAMAHA TRAK 250  
 1:10 SCALE MOTORCYCLE  
 YAMAHA TRAK 250  
 1:10 SCALE MOTORCYCLE  
 YAMAHA TRAK 250  
 1:10 SCALE MOTORCYCLE  
 YAMAHA TRAK 250  
 1:10 SCALE MOTORCYCLE



「がないとお客さんに見離されてしまいます。こう自信たっぷりに述べる専務さんには、優秀な設計陣をバックにした余裕がうかがわれます。『本物そっくりにしたい!』という設計陣の努力が実を結び、発売以来在庫ゼロ! 全国から注文の電話が鳴りやまず、嬉しい悲鳴をあげている状態です。この好調なスベリ出しに気をよくして、次々とヤマハ車のモデルを作っていく予定だそうです。」

これが全パーツ。この金型を作るのに設計陣は徹夜の苦勞をしたそうな。



# トレール・クラブ

アルプスの空にジャンプ——「チーム駒」



日本一のトレールクラブを目指して、和気あいあいのうちにトレールエンディングに  
はげむ「チーム駒」の仲間たち。背後の山は標高二九五六メートルの駒ヶ岳

## ヤマハフレンド店兄弟が協力

天竜下りで知られる天竜川をさかのぼると伊那峽の景観がひらけてきます。その近くの河原ぞいに、トレール・ライディングのテクニクをみがぐのにピッタリの空地があります。

いつのころからか、週末ともなると、この空地の変化に富んだ地形を利用して、ジャンプをしたり、斜面を走ったり、オフ・ロード走行を楽しむ若者たちの姿が目立つようになりました。

「このように、せっかく芽をふき出したモータースポーツを楽しく健全なものに育てたい」。そう考えた人々びとが発起人になって、「チーム駒」が結成されたのです。

その中心となった人びとの中に、駒ヶ根市のヤマハフレンド店、駒ヶ根モーターの経営者、曲淵武男さん（32才）と、伊南モーターの経営者、中坪達雄さん（28才）がいます。この二人は血を分けた兄弟です。「この地方に、ヤマハトレールによるスポーツを振興させよう」と、卒先して、若い仲間たちに「チーム駒」の結成を呼びかけたのです。

トレールエンディングのための場所も、所有者である宮田村大久保区から正式に借り受け、みんなで木の根を掘り起すなど、コースづくりにも精を出しました。会費も月に三百円ずつ徴収、笹岡保男会長のもとに、秩序のあるスポーツ活動を行なっています。

曲淵さんはヤマハトレール125 A T T を、中坪さんは250 D T T を、それぞれチューニングアップし、若いチームメイトたちとトレール走行の楽しさを味わっています。

## ヤマハスポーツランドを新設

クラブ員たちは、トレールエンディングと並行して積極的にモトクロスレースに参加します。全員そろってノビスクラス。優勝経験はゼロですが、地元のレースはもちろん、東京で開かれた全日本モトクロス大会にも参加する熱心さです。成績もシリ上りに好調。さきの松本モトクロス大会では、松永選手がオープン

# 愉快な

中央アルプス「駒ヶ岳」のみもと、長野県駒ヶ根市に、モータースポーツを愛する人たちがばかりで組織されたトレール・クラブがあります。その名は「チーム駒」。昨年の1月に発足したときは、総勢わずか4人でしたが、トレール・ライディングの楽しさを知る仲間たちが、つぎつぎに加わって、いまでは15人にもふえました。



トレールで、とよ、走る！起伏にとんだ地形の駒ヶ根ヤマハスポーツランド（仮称）



道は急な上り、モトクロス・チャンピオンを目指して大きくジャンプ



頼りになるメカニックも兼任する中坪さん



「チームの中では最年長ですが、トレール・ライディングのキャリアはいちはん短かいんです」若い仲間と同じ気持ちで張切る曲淵さん

クラス二位、中坪選手が二五〇ccクラスで三位に入賞しました。  
 トレール・ライディングの楽しさをもっと多くの人びとに知ってもらいたいと、チーム駒がトレールニングに使っていた土地を、この春からヤマハ特約店の飯田モーターが借り受けて、管理することになりました。若者に愛されるこのスポーツランドの正式な名前を同社では募集しています。  
 日曜日ごとのチーム駒のトレール風景を見に来まってくるヤングマンの姿もふえました。チーム駒の人たちは、こうしたモータースポーツ入門希望者を暖かく迎えています

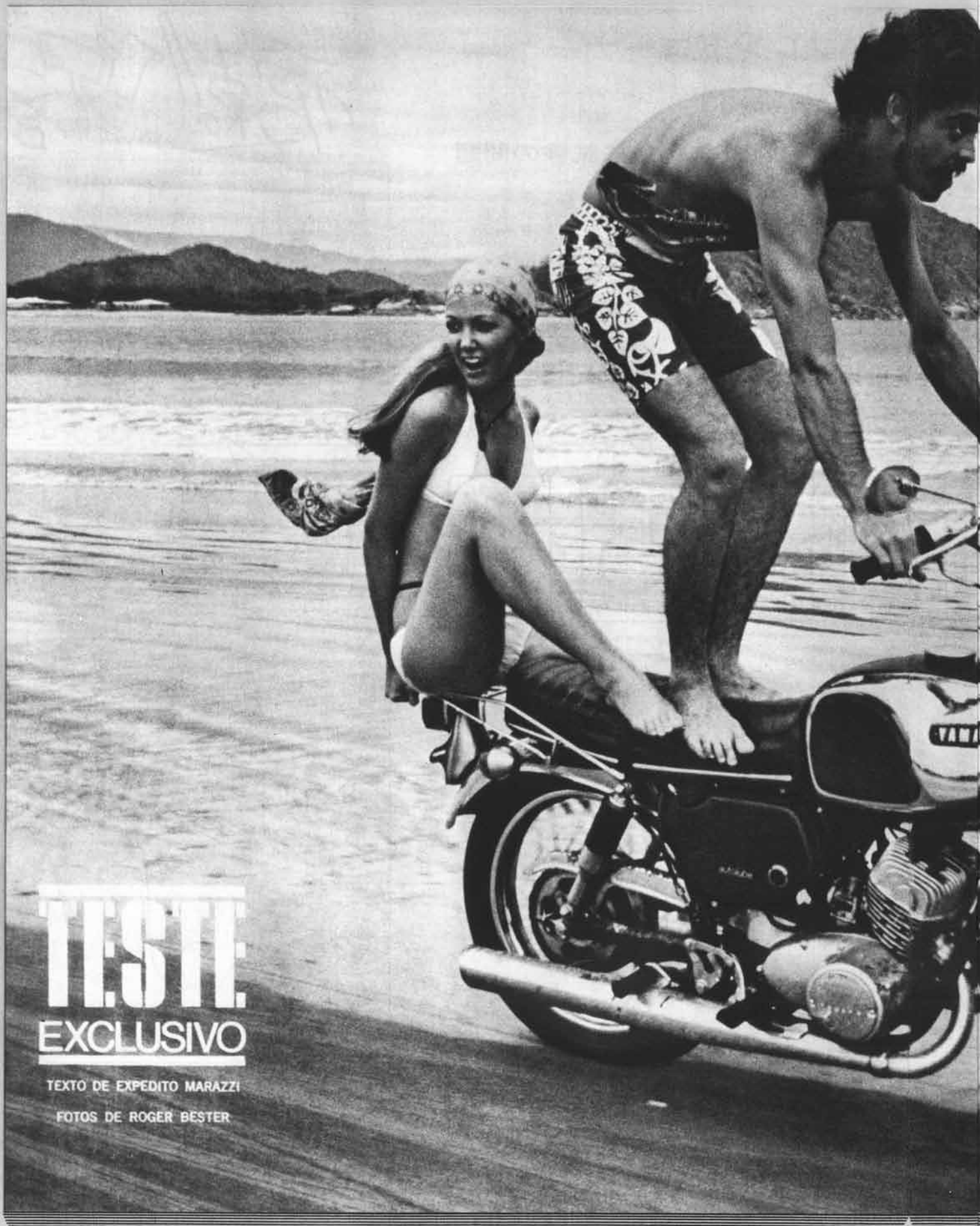
Há o modelo pequeno, com motor de 125 cc, que mesmo assim anda a quase 100 km/h. Outro, de 180 cc, tem a maneabilidade das mini-motos com a força das grandes. E mais dois, os mais brabos e mais caros, com 250 e 350 cc. Testamos os quatro: aprenda o que se sente

CAVALGANDO O VENTO  
COM A LEVE E VELOZ  
YAMAHA

どんなに乗ってもヤマハはいちばん

バイクストア

「クオトロ・  
ないように。」



# TESTE EXCLUSIVO

TEXTO DE EXPEDITO MARAZZI

FOTOS DE ROGER BESTER

なんと驚くではありませんか。これがテストのスナップとは！ ブラジルの自動車・モーターサイクルの専門誌「ロード」が伝える人気ナンバーワンのヤマハのテスト風景がこれ。陽気なものです。ただし、日本ではマネをし



# 自然を走ろうトレール・ラン

ヤマハが創りだした  
オートバイの新しいスポーツレジャー  
トレール・ランが人気を集めている



大都会のスモッグと騒音の中で  
生活する若者は  
自然を求めて野に出る  
そこは  
懐かしい故郷に似て  
すがすがしい空気が  
自分を取りもどしてくれる

きょうは六甲山麓の蓬萊峽に来た。ここは、さいはてムードがいつばいでとても惹きつけられるものがあった

# 旅に出よう トレール・ラン

連載のトレール・ランシリーズが好評で、シーズンの到来とともに、各地で流行しはじめたツーリングの便りが、編集部に続々と寄せられている。その中で今回は、ギターをかついでトレール・ラン、自然から受けた感じを即席に作詩、作曲して楽しんでいる若者を紹介しよう。

大阪市西成の質屋さんに勤務している佐藤さん(21)は、休日になると朝早くギターを肩に、市街地をのがれてトレール・ランに出る。きょうは六甲山だ。前には友達と中国地方を半周したこともあった。トレールは道なき道を走る。ドライブウェイをはずれ、好むがままに進む。眼前に展開する美しい風景、人もはいりこまない荒涼とした岩原、わたる風の音。自然にメロディがわいてくる。ギターをつまびく。詩がうかぶ。唄ってみる……。

こうして、ウエスタン・フォークが次々と生まれた。「旅に出よう」は自分でも好きな曲だった。仲間に聞いてもらった。

これはいいかす。どこかへ出してみるよ！NHK「あなたのメロディー」にした。あわてて切手も張らずに投かんしてしまった。

あーあ、これじゃ見込みなしだな……。ところが、これが見事入選、ビリー・バンバンが唄って全国に放送された。生まれて初めてのテレビインタビューは暗がましかつた。

豊中市に住む両親や兄妹、東京の弟もみんなほめてくれた。もつといい曲をもつと作ろうと思う。ヤマハトレールDDT1と愛用のギターはそのためにうんと働いてもらうつもりだ。

尚、佐藤さんは同好の士を求めています。良い詩が出来たら送って下さい。曲をつけてくれます。住所は左記の通りです。

〒557 大阪市西成区天下茶屋一の三三三

辻方 佐藤 勲



▲林の中でひと休み。甘い風がメロディーを運んでくる

▼名も知らぬ花の間をくぐりぬける。こんな季節の花を見つけるのも楽しみの一つだ





# 自然を走ろうトレールラン



▲人けのない荒野を行く。トレール・ランのダイゴ味があじわえるところ

▼きょうの歌が出来た。題は「荒野の果てに」がぴったりだと思う





こんにちは**ヤマハ**です！  
茨城県水戸市 中央オートサイクル



お二人で受講されている人の気持ちをほぐします。暖かい空気が教室を包みます。

## “免許教室”のあるお店

下はショールーム、上が教室と  
いう理想的なお店の設計です。





女学校の頃を思い出したように、はなやかな笑声が聞えてくるようです。



メイトを使つての説明は、グツとわかりやすいと好評でした。



若い人、主婦に混つて大奮闘！ 免許教室はあらゆる層に人気があります。

## 大成功だった第一回免許教室

「おかげさまで初めての免許教室は大成功でした。」と満面笑みをたたえ、これまでの苦勞を吹き飛ばすようにお話しをされるのは、観梅の借樂園で有名な水戸の中央オートサイクルのご主人久野克雄さんと奥様のふみさん。ご夫婦が喜ばれるのも無理のない話、初めての免許教室の申し込みが三十人を上回ったため、半分の十五人で行ったものが、十三人の合格者という高い合格率の成果を残したからです。合格したお客さまからはお礼の電話が続々とかかってくるうちに、申し込みしたのに次回に回されたお客さまから、早く、開いてくれという電話があいつぎ、もちろん、メイトの注文も二台、三台と受けているのですから。

## お客さんの強い希望で

ヤマハを始めました

中央オートサイクルさんは、昭和七年、水戸駅前に自転車店として開業、農家の主婦、学生さん相手にお店を大きくしてきました。そして昭和三十五年、時代の波にのつてお客さまの足も、自転車からバイク、オートバイへと変っていくのに呼応して、営業内容も大きく変っていったのです。オートバイと自転車という商法は、時流にうまく乗り、主婦、女学生には自転車、サラリーマン、若い人にはオートバイとお店の経営は順調に伸びていきました。こういうなかで、お店に来る若いお客さまのなかに、ヤマハオートバイに対する強い関心と人気、日増しに盛りあがる一方。ついに、昭和四十二年から大々的にヤマハオートバイの販売が始まりました。

## 一年目で販売コンクール第一位に

第一位に

お客さまのなかには、一日も早くヤマハを販売してくれるのを心待ちにしていた人も多

新装なったお店で、気持よく商談が出来ます。と御主人の声もはずみずみ。



こんにちはヤマハです！



鏡を使った店内は若者の気持にピッタリ！ 初めのお客さんはビックリする位の効果があります。

く、その年の末には、早くも茨城県下における販売コンクールでトップ賞を獲得するといふめざましい勢い。その裏にはトレール時代にこたえた若い人中心の販売方法と、奥さまの日常的なセールス活動が大きく働いたようです。

**い**つでも免許教室を開けます

それからというものの、ヤマハファンの増えること雨後のタケノコの如し。今迄のお店ではどうしても手狭まになり、昭和四十五年一月、ヤマハスポーツショップとして新しいお店を構えられました。ご主人の設計によるもので、一階はショールーム。二階は免許教室用の部屋があり、いつでも免許教室を開くことが出来るのが大きな特長です。これにはご主人の深い配慮がうかがえます。これまではご主人のお客さまとして対象であった、主婦、女学生さんなどに、一日も早く免許をとってもらおうという気持です。また、お店の方はお客さまがなんの抵抗もなく入り、また手にとってみることの出来るよう、柱一本ないオープンな入口とし、鏡を使って若い人向きにファンタジックな効果をねらいました。一流デザイナー顔負けの設計ぶりが評判です。これまで考えてもいなかったフリのお客さまも気軽に立寄る、オートバイファン好みのお店に生れ変わったわけです。

**た**だいま、トレールランドを計画中

今回の免許教室も、今迄、自転車を対象にしていたお客さまに、どうしてもヤマハメイトの素晴らしさを味ってもらいたいというご主人の願いが実を結んだわけです。十年前に普通免許をとられたという大張りきりの奥さまと共に、今年のプランは一日も早くトレールランドを作り、車売ただけでなく、アフターサービスとしての仕事を充実させたいと語られ、ヤマハファンを増々ふやしていくことでしょう。

# おお、モーレッツ! このジャンプ!

オーストラリアのダーウインで開催されたモトクロス大会で、二五〇cc D.T.I.のヤマハライダーが大活躍しました。大会の呼び物であるオールスターレースには、8名のヤマハライダーが参加しましたがスタンダード型のD.T.I.で出場したW・スミス、A・ダーリソン両選手が一位、二位を独

占しました。写真は、同じD.T.I.にまたがったD・リーガン選手がレース中に試みた素晴らしいジャンプの瞬間。

右側の木の一番低い枝が地上から四・八メートルの高さがあり、ヤマハオートバイはジャンプ力も一番だとファンは大喜びでした。



エチオピアでも  
人気上昇中

ニュージージーランド  
のヤマハブランド

# グアムのダート トラックスレース



南のグアム島では、特設のコースで行うダートトラックスレースが、駐屯する米軍の兵隊さんの間でたいへんな人気を呼んでいます。ほとんど毎週の日曜日、それぞれの愛車をひっさげた腕自慢達が、車の性能とライディングテクニックの牙を競うわけですが、高性能、高品質のヤマハオートバイはこのスポーツでも断然強く、常に最優秀の成績をおさめています。

オリンピックの英雄アベベの国エチオピアでも、このところモーターサイクルスポーツに寄せられる関心が大きくなってきています。このスポーツ熱は同国に滞在するアメリカ人のファンによって益々かきたてられているようです。

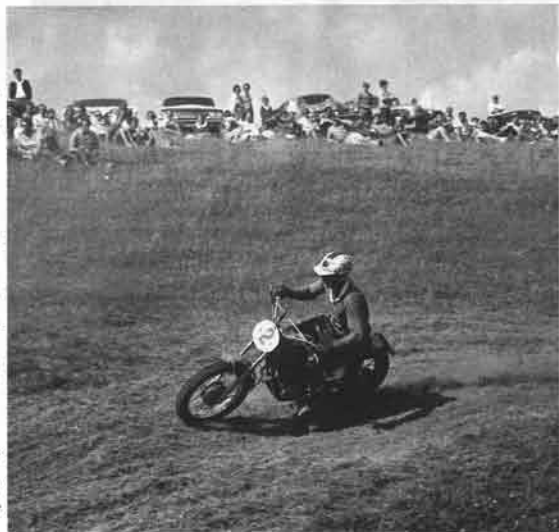
写真はエチオピアのマスマラ近郊のコースで催された、アメリカ人によるモトクロス競技のスナップですが、フラットで一面に岩がごろごろしているという変わったコースでの熱戦は、現地人の観衆を大喜びさせました。

この競技で首位になったのはヤマハ二五〇cc D T I の J ・ フェリス、二位も D T I の J ・ クラッサーでした。



国際的に著名なライダーを数多く生んでいるニュージーランドのロードレース、モトクロス両部門にわたって、ヤマハオートバイの活躍が目立っています。

写真は、現地の専門紙ニュージーランド・モーターサイクル・ニュースから寄せられたものですが、G・ペリー（左）とT・デイスコム（右）はヤマハTD2、TR2のライダーとして各地のレースに連戦連勝しています。



また、モトクロスでは、有名なT・ギップスがニュージーランドの王座を堅持しています。



日本にくらべると春のくるのがかなり遅い  
オランダでも、過日のアムステルダム・シヨ  
ー以来にわかにモーターサイクリングが活発  
になり、シーズン到来が感じられます。  
冬の間、二輪車といえばトコトコ市中を走  
るモキツクをみかけるぐらいでしたが、この  
頃では大型バイクでハイウエーを颯爽と突走  
る若者の数がふえてきました。  
写真は春の一日を、ヤマハ五〇 F S I  
でアベックライディングを楽しむ若いお二  
人。(ロツテルダムふ頭でのスナップ)

# “ジーズン来る”



# すぐれた機動性の軽量ヤマハ

西パキスタンでもヤマハオートバイの人気は高まる一方です。

とくに取り扱いが簡単で、すぐれた性能をもっている軽排気量ヤマハは、日常生活の足としての機動性が高く評価されています。



# 戦士もヤマハでさっそうと!!

戦いのいでたちで、馬の代りにヤマハメイ  
ト50にうちまたがったメケオの戦士——とい  
うこの珍しい写真はポートモレスビーで最  
近開かれたモーターショーのアトラクシ  
ョンのひとつ。

バブア、ニューギニアといった地域にも、  
ヤマハの製品は進出を開始、堅実にその市場  
を拡大しつつあります。



## ブリスベーン モーターショー

写真はオーストラリア東部の港ブリスベーンで開かれたモーターショーのヤマハコーナーです。  
現地の代理店であるアンナンド・トンプソン社によってアレンジされたものですが、最も人気の高い二五〇cc D T I を中心にしたヤマハラインは、観客の注目的になりました。



## タイで好評のヤマハ

〔ヤマハアジア発〕どう見ても、仲のよい親子の合乗りといった感じですが、実は二輪タクシートの運転手と、乗客の子供です。  
これはタイの南部のある地方都市でのスナップで、二輪タクシールには力強く、経済的なヤマハ車がたいへんな人気です。



## フィリッピン

### スポーツ界の花形

フィリッピンでも最近オートバイスポーツが益々さかんになる傾向ですが、昨年のスポーツ界でヤマハオートバイの活躍が最大の話題になりました。

写真は、クイーン市近郊のコースで行われた第一回フィリッピンGPを制覇したヤマハのボーイ・ラツズ選手(右)と、同じくヤマハのスターライダー、リコ・サウト選手(左)です。

ラツズ選手が乗ったのは工場整備の一二五ccレーサーでしたが、ピストル形のコース二十周を三十七分五十四秒二で完走、二位以下を大きく引き離して楽勝しました。



## ヤマハ運転免許教室の盛況で試験場も札止め



飯田モーター(株)の平沢営業部長がインストラクターを勤めた南信地区の免許教室。

長野県の南信地区では、昨年十月から今年の春にかけて、ヤマハフレンド店のみなさんの主催によるヤマハ運転免許教室が二十五回も開かれました。いずれの教室も盛況で、受講者は千五百五十人にも達しています。このため、運転免許試験場は超満員。なか

には受験を申請してから二カ月も待たないと試験が受けられないところも出てくる有様です。ヤマハ運転免許教室の終了後に、かならず復習会を開くなど、誠意のある指導ぶりが実を結んで、受講者の試験合格率も九〇％に近い驚異的な成績です。



## 離島の急患に ヤマハボートが活躍

〔長崎営業所発〕長崎県彼杵郡琴海町立病院では診療所の定期往診や離島の急患にヤマハボートストライプ15を活用、往診のスピードアップをはかっています。同病院の梶山茂医師(43)は九年前赴任して間もなく、対岸にあたる尾戸半島小口部落出張診療所への交通が陸づたいに長時間費やされるのをなんとか短縮できないものかとモーターボートの利用を提案、翌年から実行にうつしました。これだと一直線で陸路の半の時間で能率もたいへんあがり、以来、近海の急患などには最大にその実力を発揮して島民に感謝されています。



## 男らしさがウケる デニムつなぎ服をどうぞ

ご覧のような新しいデザインのスマートなつなぎ服が出来あがりました。生地は丈夫なデニム（青色）で、袖口、裾はチャック付。肩とヒジそして腰とヒザの部分には最高級の皮革と同じ風合いのレザーがついています。また胸にはYAMAHAの赤文字が、左の肩の部分にはGPレーサーのワッペンがついてきりっとしたライダー・スタイルに仕上げます。

サイズはS、M、L、LL（特大）の四種類があり、小売価格は四千円です。お店のお客さまにもぜひご紹介ください。



## 水難予防にヤマハが活躍！

日光・中禅寺湖に新巡視艇「おおるり」誕生

〔ヤマハ埼玉発〕国際観光地として有名な日光・中禅寺湖は、年々、観光客の増える一方その水難事故もあとをたちません。栃木県警を始めとする地元関係者もその対策に万全を期すことになり、このたび、従来の木造船に変わり、新しくヤマハストライプ18を特殊機装した巡視艇「おおるり」をその任にあたらせることになりました。4月30日には横川栃木県知事、北野県警本部長を始めとする50名近い参列者を見て、盛大な進水式が行われました。「おおるり」という艇名は、県鳥から拝借したもので、そのかろやかに飛ぶ姿は、広く人々に親しまれており、巡視艇「おおるり」も、その名のように、中禅寺湖を訪れる人々が、安心して水の上のレジャーを楽しむことを約束してくれるでしょう。



## 米国自動車工業会が表彰 交通安全に役立つトレール教室

★オートバイの正しい運転技術を、基礎から楽しく教えるトレール教室は全国的に非常な好評を博しその成果が各方面から注目されていますが、海の向うのアメリカでもトレール教室は大好評です。

〔モーターサイクル〕オートバイの初心者に正しい運転の知識と技術を身につけさせるための教育が、ヤマハによって組織的に行なわれている。これは大いに注目されるところであるが、卒先してこの種の教育の先べんをつけたヤマハ・インターナショナルは、このほどその主催する初心者のためのトレーニング・コースが交通安全に寄与するところ大であるとして、アメリカ自動車工業会よりとくに表彰をうけた。(四月二十九日)

## 驚異のTD2レーサー群

### 70世界選手権第一戦に圧勝

★ヤマハ二五〇TD2、三五〇TR2は、すでに世界最強の市販レーサーと折り紙つきですが、二五〇cc級レーサーは2気筒、六段変速以下ときめられた今年の世界GPでは、四気筒工場レーサーを追いまくった昨年の実績からしてTD2は文字どおり無敵の活躍でタイトル獲得が約束されているようです。

〔モーターサイクルニュース〕今年のロードレース世界選手権シリーズは、五月二三日の西独GPによって火ブタが切られたが、十二年ぶりで使用されたニューブルクリンクのサーキット(一周十四・二マイル)は、しつような雨と霧に見舞われ、その上に気温も零度に近いという悪コンディションに加えて地元のライダー以外は殆どこのコースの走行

経験がなく、レースは全般的にやや低調であったが、二五〇cc級におけるヤマハTD2市販レーサーの群を抜いた性能がGPのハイライトを提供した。

昨年のシリーズで工場レーサーと五角以上のレースを展開してセンセーションを起したこのマシンは、今年に更に一段と性能がアップ、TD2ライダー群は世界のビッグレースにおいて無敵の一大勢力になりつつある。西独GPで優勝したのは、今年の米国デイトナ一〇〇マイルのウィナーになったオーストラリアのヴェテラン、K・キャラザースであったが、以下五位までをTD2のライダーが独占してしまった。

直前のオーストリアGPでの負傷により、西独GP欠場の有力ライダー、K・アンデルソンも、間もなく戦列にカムバックすることが予想されるまで、今年のシリーズはヤマハマシンのライダー同士でタイトルを争うことになる可能性が濃厚である。(五月六日)

## ヤマハ連続制覇

### 70シンガポールGP

★シンガポールGPといえば、極東地域で現在一・二をあらそう重要な国際レースですが三月三十日に行なわれた今年のGPで、現地のナンバーワンライダーO・T・ウイング選手が、三五〇ccTR2プロダクションレーサーで四十ラップのレースに優勝、常勝ヤマハの伝統を堅持しました。

〔ストレート・タイムス〕六〇年代前半の長谷川以来、このレースに絶対の強味を誇っているヤマハは、マレー人ライダーO・T・ウイング(ヤマハTR2)が、強敵である工場整備のスズキ五〇〇ccマシンのG・ペリー(ニュージラランド)をやぶって優勝、常勝ヤマハの伝統を守った。

ウイング選手にとっては昨年に引き続き二度目の勝利である。二位も同様TR2のライダーK・C・ウォング選手であった。ウイング選手は、タイトルレース以外の二

五〇、三五〇cc面級にも優勝、高性能・高品質のヤマハオートバイの安定した高速性能を観衆にあらためて強烈に印象つけた。

## ずばり高性能を発揮

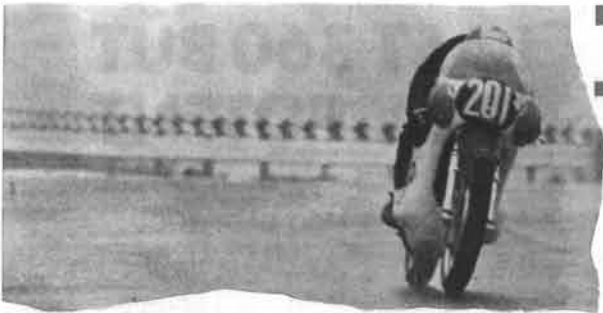
### 専門誌のテストをうけたXS1

★注文中に追われて、もっか急ピッチでフル生産をつづけているXS1ですが、その人気をうらづけるがごとく、専門誌のテストでも専門家を十分に満足させる第一級の性能を発揮しています。ここにセールズに役立つポイントをひろいだしてみましよう。

〔モーターサイクルリクト〕——特集・ヤマハスポーツ六五〇・徹底的テストのテストリポート①、②、③より——(六月号)

ヤマハ六五〇XS1のテストは、ヤマハの袋井コースで行なった。ローギヤで思いきり引っぱると、アツというまに八〇〇回転、速度は八〇キロ/時を越える。すぐセカンドへチェンジ。タコメーターは一瞬五五〇回転まで落ちるが、すぐに八〇〇近くまで上がり、スピードメーターは一〇キロ/時を指している。サードで八〇〇まで引っぱると一四〇キロ/時。フォースでは七五〇回転で一六〇キロ/時である。ここまでは、ほんの瞬のことで、トップギヤでピツタリ伏せていると七五〇〇回転で一七〇キロ/時。ライディングポジションは文句なしに良いエンジン幅が比較的狭く、さらにタンク幅とか、シートの前部の幅が狭くなっているためピツタリしたライディングフォームがとれるからである。私の身長は一六五センチであるが、ほかのライダーは一七〇〜一七五センチ以上もあるのに、いずれの場合も窮屈なようすはみられなかった。(大光明 克征氏)

いつものことながらヤマハ車を見て感心するのは、仕上げの良さ、巧みさである。XS1にもその伝統的なウデは存分に発揮されており、きわめて魅力的な外観をもったモデルに仕上げられている。そしてまたアクセシビリティが良いことも、このモデルの魅力のひとつだ。プラグ交換から、クラッチ調整にい



たるまで、その作業のしやすさには十分に気を配ってあり、日常整備をするのにおつくうな気分にならずにすむ。(いわた・げん氏)

コースでは三、四シリンダマシンに比べて全く軽く感じられ、コンパクトで細身。デザインは、この点かなり気をつかっている。すぐにコースレイアウトをのみ込んだので、カーブにはいる際にもだんだんとマシンをパンクさせてみた。走りは着実だしサスペンションも良く、それに他のビッグツインにはみられない十分なグランドクリアランスがある。カーブの際何かを引っかけるとはまずあり得ないし、申しぶんなく安全な点である。

私たちが特に注意したのは、バイブレーションのことだ。六五〇XS1は多分君が要求する、ほど良いバイブレーションがあり、いわゆる「男らしさ」の感じの好きな人には保証できる。私は振動には敏感なほうだ。他のビッグツインと比べたら、このヤマハは確実に振動は少ない。(バイロン・ブラック氏)

【オートバイ】——特別企画・国産ビッグロードスター四車のテスト・ランより——。雨の東名一〇〇〇キロを走ったXS1、CB七五〇、W1S、T五〇〇IIIについて、専門家・成毛弘侑、原系之助、滋野靖穂、横内一馬の四氏の発言から抜粋。(六月号)

横内 追い越し加速なんです、これがおもしろいですよ。四〇キロからパツとアクセルをあげて、二〇〇メートルまでいくときに(XS1は)この感じが非常に速くて直線的に伸びる。追い越し加速でいちばんいいのがヤマハなんです。XS1、これが四〇キロで〇→二〇〇の場合、九・五でいくんですよ。成毛 ヤマハはスタートでもたつく感じで、あとはピュッと速くなるね。

原 トルクがあるんじゃないんですか。中速ぐらいのところのトルクが高いですかね。横内 ただし、五〇キロになると、CBのほうが速くなっちゃうんですね。六〇キロになると、トントんぐらい。

原 その辺が勝負のしどころですね(笑)。

横内 当然、〇→一〇〇の間でもCB七五〇が五・八かかっているのに、XS1は五・五でいっているんですね。

滋野 しかも、タイムを見ていたら、ヤマハはコンスタントに出ていました。ばらつきが少ないんですよ。

原 最初のもたつきがあっても、途中でかせるというところなんですね。

横内 保守点検の項目。

原 エヤ・クリナーは全部、四車種ともはずしてみようと、やってみたんです。そして、いちばん目について、すぐはずせるなと思うようなものがいちばんはずしにくいということを見つけたんですね。その辺でカバーを取りはずすのはホンダがいちばん早くはずせません。ヤマハの場合は、エヤ・クリナーを出すときワン・タッチのカセットタイプになっている。ほくがひそかにこういう設計をしたいなと思っていたやつが、今回の六五〇にちゃんと表現されているのに驚いた。ヤマハはエア・クリナーの手入れ性という意味においては、ほくは点をものすごく高くもつとやってもいいんじゃないかと思う。

横内 大ざっぱに、きのうの東名、きょうのテストと別々に燃費が出ているのですけど、東名ではCBがリッター一六・三、ヤマハが一七・八、W1Sが一六・五、スズキが一六・三と出ています。きょうのテストで、これ以上喰わせられないというところまで喰わせて、ホンダの一六・三が一・二・三、ヤマハの一七・八というのが一三・二です。

原 大型車というのが、ここでヤマハが新しく4ストロークでニュー・カマーしたわけですが、これでやっとな日本のオートバイの大型排気量車の土台ががちりしてきたということ、そして、さらに今年以降、大型車の品質がどんどんよくなるでしょう。

## 一回り大きくなる二輪車業界

★モータースポーツの興隆とあいまって、レジャーも拡大、大型化され、オートバイの需要は若人を中心に好調な伸びをみせています。そこで、これからの業界の見通しについてこんな観測記事が紙面にぎわっています。

〔日刊工業新聞〕二輪車業界は内外需要の好

調を反映して空前の増産を続けているが、ここに来て各社とも生産能力が限界に達したことから、生産設備の大幅増強を積極的に進めている。

同業界がこうした動きをみせるのは数年ぶりのことで①こんごレジャーの拡大で需要は急上昇する②輸出が大きく伸びる見込み③発展途上国での需要が活発化し始めた——などが各社を強気にさせている。

今秋から来春にかけて各社の増産計画は完了することになるが、これにより同業界は一まわり大きくなる。

昨年度(四十四年四月～四十五年三月)の二輪車総生産台数は二百六十一万二千九百二十八台で、前年度比八・二%増と過去最高だった四十一年度を上回る好調をみせた。四十五年度も引続き好調を見込み、日本自動車工業会では二輪車の四十五年需要見通しを二百八十三万四千台(前年度比一〇・四%増)うち国内需要百三十万四千台(同五・三%増)輸出百五十三万五千台(同十五%増)としている。しかし業界各社はこれを上回る需要を見込みそれに見合う生産計画をたてている。

すでに各社は、一、三月からフル生産に入っており、各社とも月間生産記録を更新しているが、ここに来て三十八、九年度大幅に拡充した生産設備能力では需要の急増に対応できなくなつたため、相ついで設備の拡充に乗出したわけ。

各社の設備強化状況をみると――。

ヤマハ発動機は生産能力が限界に達したため、トヨタ二〇〇GTなどの生産を行なっている磐田工場に新たに二輪車生産工場の建設をはじめた。十一月には完成する予定で、操業をはじめると、月産能力は現在の五万台から七万台に引上げられる。同社ではとくに大型二輪車の生産が間に合わないといっており、こんどの設備拡充では大型二輪車の増産に重点を置く計画。

このように各社ともこれまでにない増産を計画していることから、下請けにも大幅な増産体制確立を呼びかけている。

これにより今秋から来春にかけて業界の規模は大幅に拡充されることになる。

## ■ヤマハサービスコーナー■

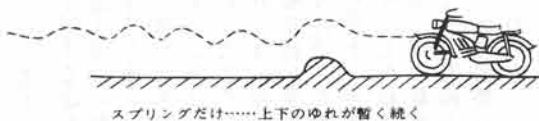
セールスの方、サービスの方、そして事務の方、お店のみなさんでご覧ください。お客さまを迎えたときの“話のタネ”に絶好です。

### ■オイルダンパーの働き

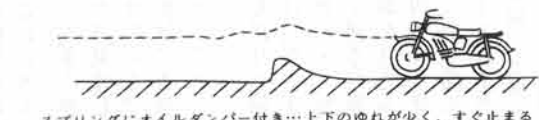
走行中のオートバイが路面からうけるショック（衝撃）は実にさまざまなものがありますが、これを極力おさえて、快適な乗り心地を得ると同時に、安定した走行を保持している重要部品にショック・アブソーバー（緩衝装置＝ダンパー）があります。

ヤマハオートバイでは前輪からのショックを吸収するものとしてテレスコピック・オレオ（メイトの場合はリーディングリンク・オレオ）を、後輪からのショックを吸収するものとしてスイングアーム・オレオを採用しています。テレスコピックとは、テレスコープすなわち望遠鏡という意味から、望遠鏡のように伸び縮みするクッションということですが、またスイングアームは、後輪を支持しているアームが上下にスイング・クッションすることによって、オレオとはラテン語でいうオイル＝油の接頭語であって、この場合は油圧式であることを意味します。

ところでショック・アブソーバーの構造はどうなっているのかというと、簡単にいえばコイルスプリング（らせん状のバネ）とオイルダンパーとの組み合わせからできています。コイルスプリングは上下に伸び縮みして衝撃をやわらげるためのものですが、このスプリングだけにクッションの役目をまかせておくと、凹凸を乗り越えたときなど、その衝撃はいつまでもつづいて、せつかくのクッションが逆に不快なものとなります。このため障害物を乗り越えるときは、スプリングがあまり抵抗なく縮み、障害物を乗り越えて縮んだスプリングが伸びるときは徐々に伸ばすようにするためにオイルダンパーをつけるわけです。



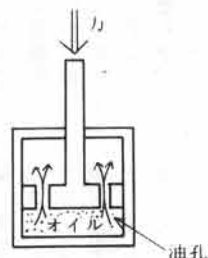
スプリングだけ……上下のゆれが暫く続く



スプリングにオイルダンパー付き……上下のゆれが少く、すぐ止まる

### ■オイルダンパーの作動原理

下の図はオイルダンパーの作動を簡単に示したものです。上下に動くピストン状のものはオイルの中に入れられ、このピストン状のものが上下することによって、内部のオイルが油孔をとおる仕組みになっています。しかし、油孔は小さく、オイルには粘度がありますので、オイルの出入りには抵抗が生じ、ピストンの動きは重くなります。そしてこの抵抗を利用して、いつまでも動きつづけようとするスプリングの伸び縮みをおさえるようにしたのがオイルダンパーです。



オイルダンパーの効き具合はオイルの粘度とオイルの量によって変わってきます。

たとえば、テレスコピック・オレオ・フォークでオイルの粘度がひくかったり、またはオイルの量が少ないとオイルダンパーの効果が減少し、フォークの伸びきり音が出たり、底をついたりします。ですから、オイルの粘度と量は規定値を守ることが大切です。

### フロントフォーク・オイル

粘度 ヤマハギヤールオイル（モーターオイル10W/30）

#### オイル量

車種	F(コ)5	HT1	AT1	DT1	FS1	HS1	AS1	CS2E	DS6	R3	XSI
オイル量	右154 左136	136	150	210	右140 左135	147	160	170	205	240	240

単位 片側 cc

# "ヤマハ ミニ"の季節です



便利な展示台もできました

水の季節の到来とともに、スポーツ・レジャーを愛する人びとの関心が、ヤマハ船外機「ヤマハ・ミニ」に集まっています。小粒でめっぽう力の強い「ヤマハ・ミニ」は、水辺のレジャーのお供に最適。好評です。  
あなたのお店の「ヤマハ・ミニ」を引き立てる美しい展示台も出来ました。車輪がついているので、移動がラクです。

1.5馬力から15馬力まで

## ヤマハ船外機シリーズ

**P-250**  
15馬力

**P-200**  
12馬力

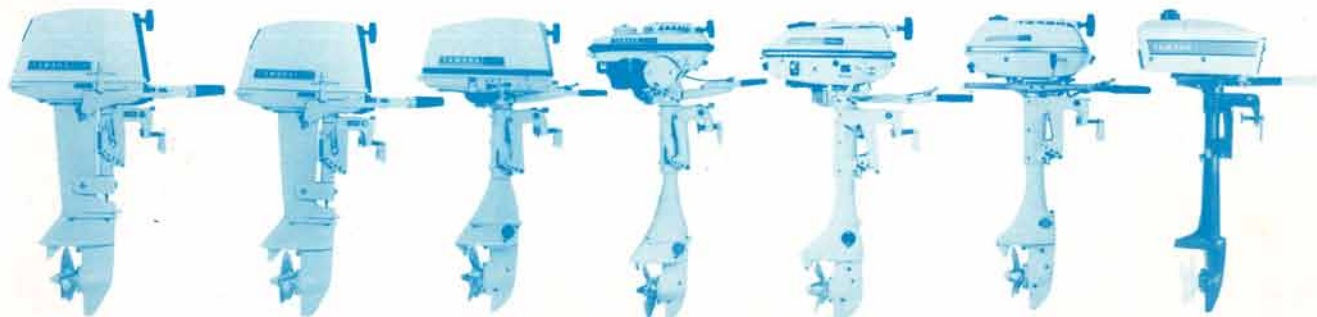
**P-125A**  
6.0馬力

**P-55A**  
5.8馬力

**P-95A**  
5.0馬力

**P-65**  
3.5馬力

**P-45**  
1.5馬力





好評!

# ヤマハポスター

ポスターが売れる時代です。オートバイ部門で“売れるポスター”の先べんをつけたのがヤマハ。おなじみの砂丘に立つヤマハトレールが、町のポスター屋に現われて以来、スポーツムード満点のヤマハポスターは、若者たちの部屋を飾るアクセサリとして人気を集めています。

